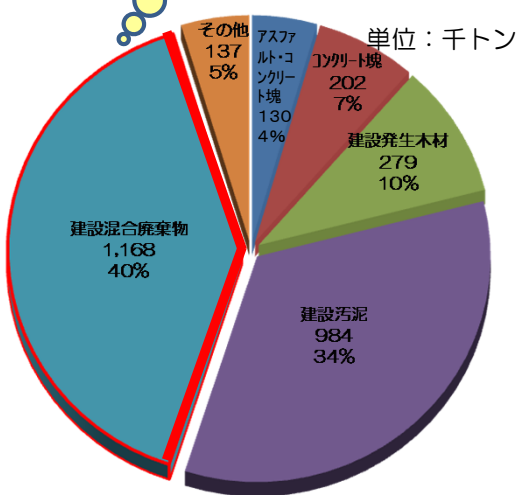




# まだ分けられるモノがある

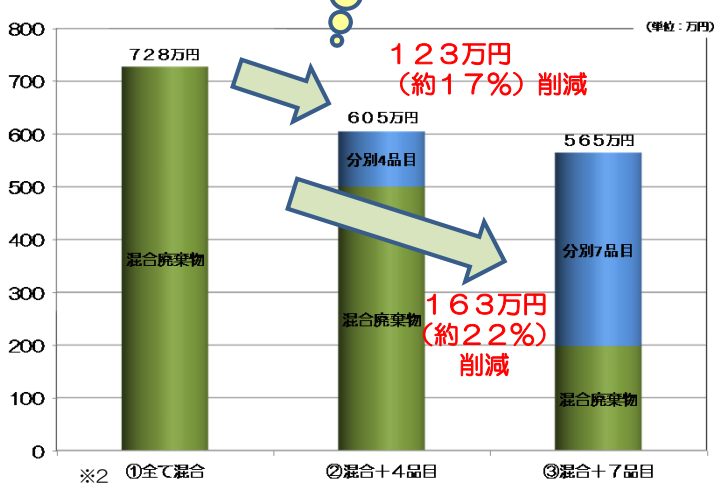
建設混合廃棄物を減らせば・・・



九州地方の品目別最終処分量割合 (平成24年度)  
出典：建設副産物実態調査 (国土交通省)

分別数を増やせば・・・

・マンション工事  
・延床面10,000m<sup>2</sup>の場合



廃棄物処理費比較シミュレーション

出典：「めざせゼロ・エミッション」(㈱タケイ)

残余年数約14年<sup>※1</sup>とされる  
最終処分場の延命が可能

※1 平成27年度 環境・循環型社会・生物多様性白書より

## 廃棄物処理費<sup>※3</sup> 縮減

※2 ①全て混合  
②混合+4品目分別 (金属、ダンボール、木くず、コンクリート)  
③混合+7品目分別 (②+廃プラスチック類、塩ビ管、石膏ボード)  
※3 収集運搬費、中間処理費、最終処分費